

図書館だより

2011年7月号 矢掛町立図書館

TEL (0866)82-2100 FAX (0866)82-9101
 http://library.town.yakage.okayama.jp
 library@town.yakage.lg.jp

1927年7月24日にこの世を去った芥川龍之介は、若き日に、のちに妻となつた塚本文と頻りに手紙を交わしていました。二人は「どちらかが先に逝くことがあっても、お互いの手紙を棺に入れよう」と約束していました。龍之介に先立たれた文は、約束を守って彼の棺の中に手紙を入れたそうです。

想いを伝える手段に手紙を利用するのも素敵ですね。

参考:『図書館ごよみ12か月』全国学校図書館協議会

7月の行事予定

レイチェルせんせい・ローレンせんせいと
えいごであそぼう!

7/2(土)*10:30から*視聴覚室

先生といっしょにうたあそびやゲームを
します。レイチェル先生は今回が最
後のえいごであそぼう!です。

和楽器オーケストラ あいおい

7/18(月・祝) 12:30開場 13:00開演
 入場料(全席自由/税込) 一般 2,000円 学生 1,000円

和楽器の魅力を広く伝えることを目的とし、東京芸大卒業生を中心に結成された「和楽器オーケストラあいおい」のコンサートが矢掛で開催されます。

迫力ある演奏をどうぞ体験してください!

チケットはやかげ文化センターでも取り扱っています。詳しくはチラシをご覧ください。

おはなしらんど&かんたんおがみきょうしつ

7/23(土)*10:30から*図書館幼児コーナー

「えほんの会ゆめ」のみなさんによる絵本の読み聞かせなど。最後にみんなでおりがみをします。

電一郎先生のふしぎ電気実験

7/28(木)*13:00から*リハーサル室

十円玉と一円玉を使った実験をします。対象は小学四年生以上(3年生以下は保護者の同伴が必要)で、先着20名、申し込みが必要です。詳しくは図書館のチラシをご覧ください。

そらきたホイ!の楽しいおはなし

7/29(金)*10:30から*視聴覚室

大人気おはなしグループ「そらきたホイ!」のお二人ががやってきます!ぜひいらしてくださいね!

は休館日 ☆は行事がある日

7月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	☆2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	☆18	19	20	21	22	☆23
24	25	26	27	☆28	☆29	30
31						

8月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	☆6
7	8	9	10	11	12	☆13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	☆27
28	29	30	31			

8月の行事 図書館フェスティバル

8/6(土)*10:00から*
 やかげ文化センター、矢掛町立図書館

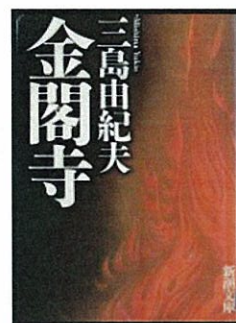
『おはなしのへや』『おやこでわらべうた』『みんなでエコはかせ』など楽しいことがいっぱいイベントです。ご家族、お友達みなさんでぜひ遊びに来てくださいね!

※事前のお申し込みが必要なものもあります。詳しくは図書館などにあるチラシやポスターをご覧ください。

7月の本

金閣寺炎上

7月2日



『金閣寺』

三島 由紀夫/著

新潮社 [BFミ]

昭和25年7月1日“国法・金閣寺焼失”の報道が世人の耳目を驚かせた。材をこの放火事件にとり、鬼才三島が告白体の名文に綴った不朽の金字塔。

カフカ生まれる

7月3日



『変身』

嶽本 野ばら/著

小学館 [Fタ]

ある朝、星沢皇児が妙に気掛かりな夢から眼を醒ますと、自分が寝床の中で見知らぬハンサムな男に変わっているのを発見した…。笑いと涙のスーパーエンターテインメント。

シャガール生まれる

7月4日



『シャガールの絵本』

シャガール/画

小学館 [72シ]

バイオリンひき、曲芸師、動物たちが天使のように自由に飛び回るシャガールの絵。愛妻ペラとの恋物語を軸に、「私と村」をはじめとするシャガールの作品を情緒豊かに紹介する画集絵本。

ふみの日

7月23日



『恋文の技術』

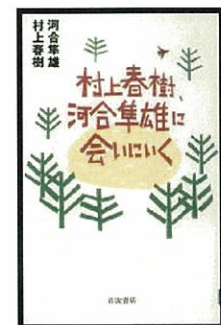
森見 登美彦/著

ポプラ社 [Fモ]

京都の大学から、遠くはなれた実験所に飛ばされた男子大学院生が1人。無聊を慰めるべく、文通武者修行と称して京都に住むかつてのなかまたちに手紙を書きまくる。

ユング生まれる

7月26日



『村上春樹、河合隼雄に会いにいく』

河合 隼雄、村上 春樹/著

岩波書店 [914.6カ]

頭にうかんだことをそのまま、なるべくむずかしい言葉は使わないようにして、心ゆくまで語り合った2日間。現代に生きることを最も深い場所から問う、魂への贈り物。

乱歩忌

7月28日



『江戸川乱歩全短篇 3』

江戸川 乱歩/著

筑摩書房 [B918.6エ3]

猟奇と妖異を卓抜な着想で織りあげた探偵小説。第三巻には「芋虫」「挿絵と旅する男」など乱歩の短篇のうちで、怪奇、幻想小説の系統に属するものが収められている。